

レンズコントローラー LC-GPR4

取扱説明書

1. 内容物一覧



□ コントローラー本体

□ AC アダプタ
(5V 3A)□ トリガー端子用
ドライバー

※形状は予告なく変わる場合があります

2. 接続方法

1. コントローラーのMicro HDMIポートにHDMIケーブルを接続してモニタと接続します



Micro HDMI

2. コントローラーのUSBポートに電動フォーカスレンズ、マウス/キーボードを接続します。

※レンズは任意のカメラと接続して映像が見える状態にしてください。



※接続するポートは USB2.0,USB3.0 の指定はありません

3. コントローラーのUSB type-CポートにACアダプタを接続します。

ACアダプタから給電が始まるとコントローラーは自動的に起動します。



※本体に電源スイッチはありません

3. 使用方法

コントローラーの電源の入れ方

電源はACアダプタから給電開始時に自動的にONになります。

コントローラーの電源の切り方

電源をOFFにする場合はACアダプタを物理的に取り外してください。

マウス接続時は画面左上のメニューの中のログアウト ⇒ ShutDownでも可能です。

△レンズ設定変更後に書き込み禁止設定にしていない状態でACアダプタを抜くと故障の原因となります。

レンズ設定変更後は必ず書き込み禁止設定にしてください。

コントローラーの操作は接続したマウス及びキーボードで行います。

レンズの設定の手順は大きく分けて下記になります。

1. 書込み可能設定にする



2. ソフトウェア (LensConnect Controller) でレンズ設定変更



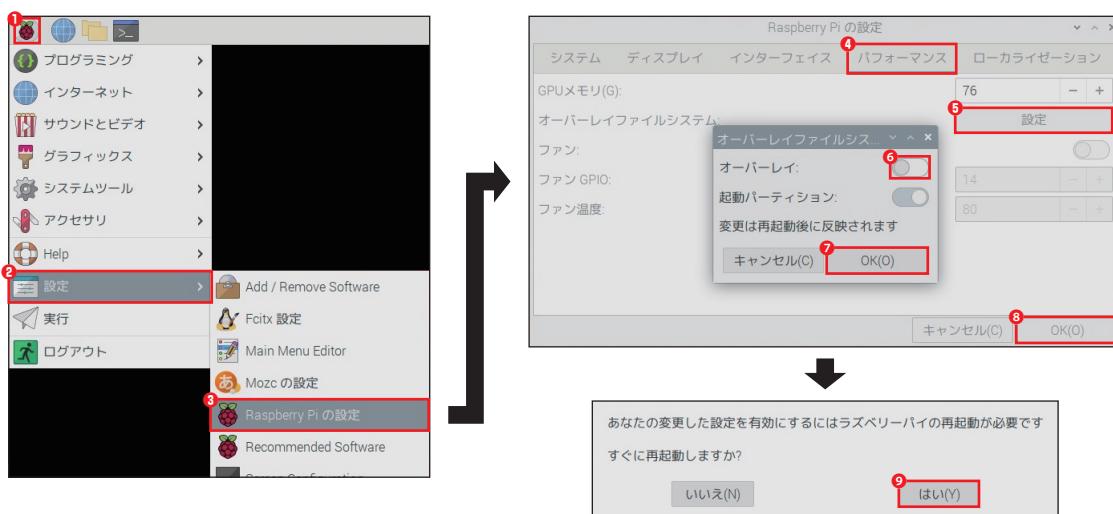
3. 書込み禁止設定にする

1. 書き込み可能設定にする

コントローラー起動時に自動的にプログラムが起動しますが、初回起動時は書き込み禁止設定になっています。

書き込み禁止設定ではソフトウェアで設定変更しても次回起動時には設定がリセットされてしまいます。

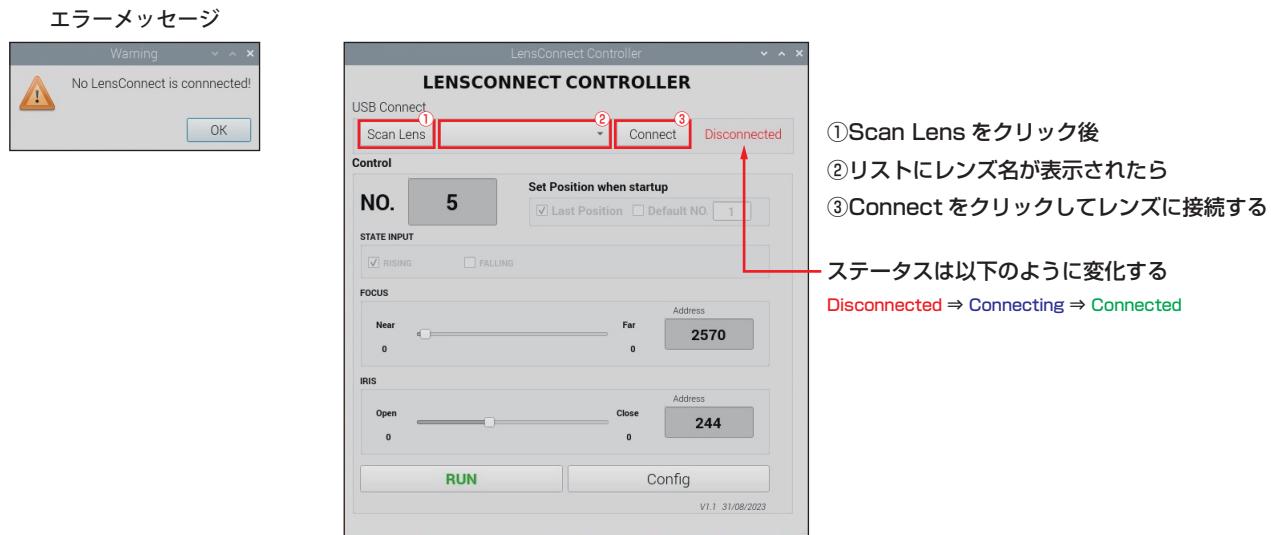
設定変更が可能なように下記図の手順で書き込み可能設定に変更します。



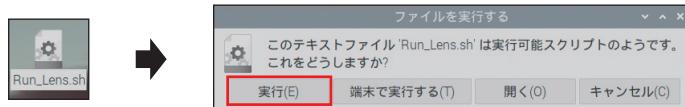
再起動が完了すると書き込み可能設定になるので、ソフトウェアで設定を変更します。

2. ソフトウェアでレンズ設定変更

コントローラー起動時に自動的に起動するLensConnect Controllerでレンズ設定を変更します。
起動時に以下のエラーメッセージが出ている場合はレンズが正常に認識されていないので
レンズを再接続して、『Scan Lens』 ⇒ 『Connect』でレンズに接続してください。



書き込み可能/禁止設定変更直後の自動起動時、稀にステータスがConnectingで固まる場合があります。
その場合は一旦ソフトウェアを強制終了した後、デスクトップ上のRun_Lens.shを実行してください。

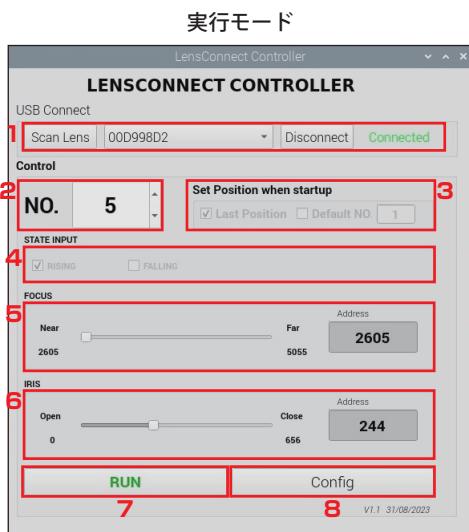


LensConnect Controllerは実行モードと設定モードの2つのモードで動作します。

起動時は実行モードで起動します。

実行モード

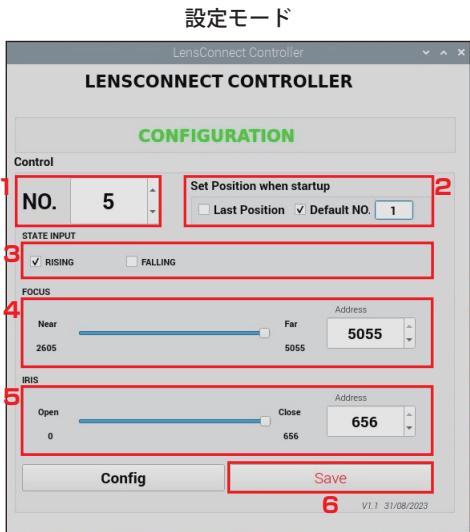
実行モードではレンズの接続、手動でのプログラム切替、設定モードへの切替が可能です。



1. レンズ接続設定
2. プログラムの選択 1~10の中から選択
3. ソフトウェアの起動時に実行されるプログラム設定の表示
4. トリガーのエッジ方向の表示
5. プログラムで設定されたフォーカス値の表示
6. プログラムで設定されたアイリス値の表示
7. 2で選択したプログラムの値をレンズに反映
8. 設定モードへ

設定モード

設定モードでは10プログラムまでのレンズ設定と起動時設定、トリガーのエッジ方向設定の保存が可能です。



1. 設定するプログラムの選択 1~10の中から選択
2. ソフトウェアの起動時に実行されるプログラム設定
Last Position : 終了時のプログラムの値
Default No.○ : 任意のプログラムの値
3. トリガーのエッジ方向の設定
※切り替えた場合はソフトウェアの再起動が必要です。
4. フォーカス値の設定
5. アイリス値の表示
6. 設定を保存して実行モードへ戻る

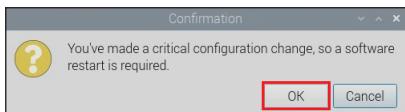
△ 設定変更する場合は設定保存のために必ず書き込み可能設定を行ってください。

プログラム設定手順

- ① 設定するプログラムを選択する
- ② カメラの映像を見ながらフォーカスを調整する
コンボボックスの数値を反映する場合は入力後Enterを押して確定する
- ③ カメラの映像を見ながらアイリスを調整する
コンボボックスの数値を反映する場合は入力後Enterを押して確定する
- ④ 必要に応じて1~3を繰り返す
- ⑤ コントローラー起動時のデフォルトプログラムを設定する
- ⑥ トリガーのエッジ方向を設定する
- ⑦ Saveボタンをクリックしてプログラム設定を保存する

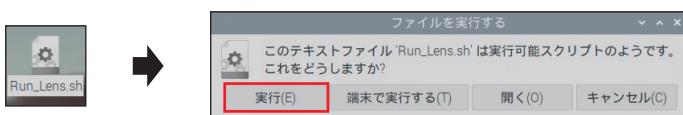
※プログラム設定を保存すると自動的に実行モードに切り替わります。

トリガーの設定を変更した場合はSaveボタンクリック後にメッセージが表示されます。



メッセージ上のOKボタンをクリックするとソフトウェアが終了します。

ソフトウェアを再起動する場合はデスクトップのRun_Lens.shを実行します。



3. 書込み禁止設定にする

ソフトウェアでの設定が完了したら、データ保護のために書込み禁止設定にします。

下記図の手順で書込み禁止設定に変更します。



再起動が完了すると書込み禁止設定になります。

書込み禁止設定ではソフトウェアで設定を変更してもコントローラーの電源がOFFになると
次回起動時には変更した設定は反映されません。

ソフトウェアで再度設定を変更する場合は、書き込み可能設定に変更してください。

現在が書き込み可能/禁止のどちらになっているかは設定画面で確認できます。



⚠ 電源をOFFにするときの注意

- ・設定完了状態にしていない状態でコントローラーの電源を抜いてOFFになると
コントローラー故障の直接の原因となります。
- ・頻繁に設定を変更する必要がある場合など、やむをえず設定変更準備状態にしておきた
い場合で電源をOFFにするときは左上のメニューを開きログアウト⇒Shutdownで
コントローラーの電源をOFFにしてください。

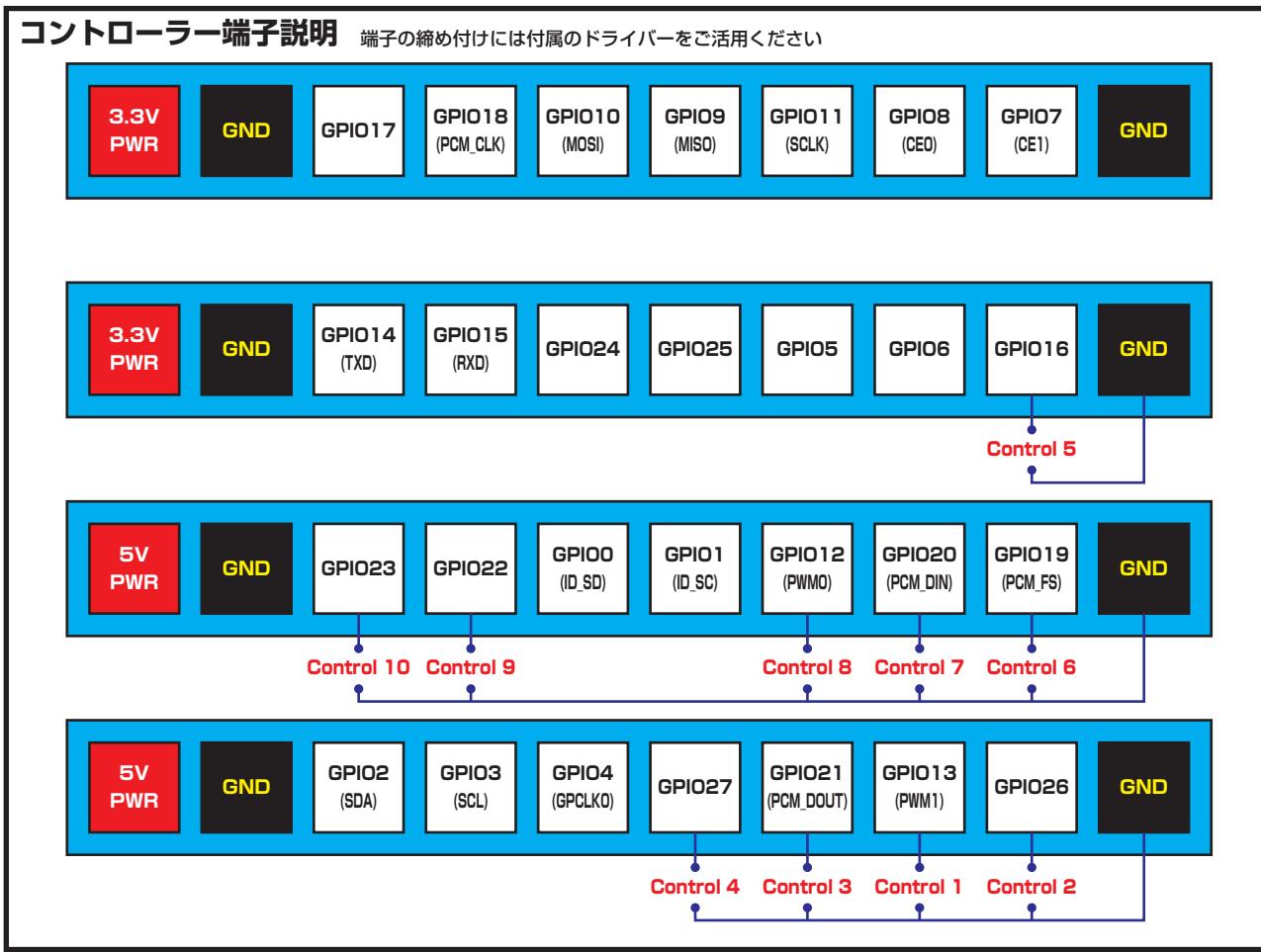
レンズ設定が完了後はコントローラーにはモニタやマウス、キーボードの接続は不要となります。

レンズと外部トリガー機器の接続のみでの運用が可能です。

再度レンズ設定を変更する場合はモニタやマウス、キーボードを接続して設定してください。

4. トリガー説明

LensConnect Controller で使用するトリガー端子は下記の通りです。



入力電圧Lowレベル 0 ~ 1.19 V

入力電圧Highレベル 1.34 ~ 3.3 V ※3.3V を越える電圧を印加しないように注意してください

入力電流 0.5mA以下推奨

△ トリガー端子への接続はコントローラーの電源 OFF 状態で行ってください

接続例

